

郡山市

革新懇 ニュース

233

発行：郡山市革新懇事務局 Mail: ugp25200@nifty.com

全国革新懇シンポジウム 2月5日(土)13:30開会・配信(終了16:30)
「市民と野党の共闘」の前進をめざして

コーディネーター 石川 康宏さん 神戸女学院大学教授・全国革新懇代表世話人
 パネリスト eriさん DEPTカンパニー代表・環境アクティビスト

小畑 雅子さん 全国労働組合総連合議長
 志位 和夫さん 日本共産党委員長
 日比野 敏陽さん 元新聞労連委員長・新聞記者
 山口 二郎さん 市民連合よびかけ人・法政大学教授



6日にミナセンなかどおり主催で「戦争させない・9条守ろう！市民集会」がオンラインで開催されました。菱山さんは「憲法の実践」を心がけ、憲法を守る運動と生活に困窮する女性へのアウトリーチサービスなどの自らの体験から、さらに多くの力を改憲阻止の運動に結集する必要性を訴えました。また、汚染水（処理水）海洋放出、原発訴訟、平和憲法守る活動家などの7氏から発言がありました。

オンライン配信をYouTubeで是非、ご視聴ください。
 ミナセンなかどおりのホームページからは、動画の他、市民、政党の方の発言をテキストで御覧頂けます。

ミナセンなかどおり ホームページ
<http://hometown.my.coocan.jp/minasen-nakadoori/>

戦争させない・9条守ろう！ 2・6市民集会
 市民運動家 菱山南帆子の講演と県民のリレートーク



eriさんは市民の今までにない活動を若者主体で展開中です

全国革新懇はオンライン配信(YouTube)で全国革新懇シンポジウムを5日に開催されました。6人のパネリストが総選挙の結果もふまえ、自公政権にかわる政治の実現をめざす「市民と野党の共闘」を進化させる方途、共闘を分断する動きへの対応について議論されました。

なお、オンライン配信の録画はYouTubeで、「全国革新懇シンポジウム」で検索できます。また、QR Codeでもアクセスできますので、ぜひ、ご視聴ください。



憲法考える郡山市民の会講演会

5月3日13:30~

於：郡山市中央公民館多目的ホール(予定)

去る1月30日、オミクロン株での感染急拡大が心配される中で開催されたが、郡山市中央公民館3階会場がほぼ満席となるほどの参加者が、一刀両断の歯切れのよい政治評論家を彷彿とさせる小松岡山大学教授の「福島県農業の復権と農民連への期待」と題した熱のこもった忌憚のない話を傾けていました。

農家、農協を苦しめ、日本の農業を衰退の途にさせてきた自公民政治のもとで、昭和40年73%だった総合食料自給率は今や37%に。農林水産業の第一次産業は、目には見えない「タダ働き」の状況だが、国土のメンテナンスを担う国土保全、生命保全産業だ。農協の信頼が及第点を割り、JAグループの劣化が否めないなか、農民連には第一産業連帯の中軸にと期待を込めました、小松氏は、また、大震災原発事故被災地の福島の支援に何かできないかと考え、晩酌は福島の酒を飲むことにしたことや、「ひなたの道を歩む」と話題のNHKの朝ドラ「カムカムエブリバディ」を毎日夫婦で見入っていることなどを披露。

全国革新懇の代表世話人でもある小松氏は、夏の参院選に向け「市民と野党の共闘」に力を注ぐ共産党にも触れて「ブレずに誠

小松泰信氏の講演会を開催

郡山地方農民連が「隠れ共産党宣言」で話題を呼ぶ